

戦略的キャンパスマスタープラン策定支援

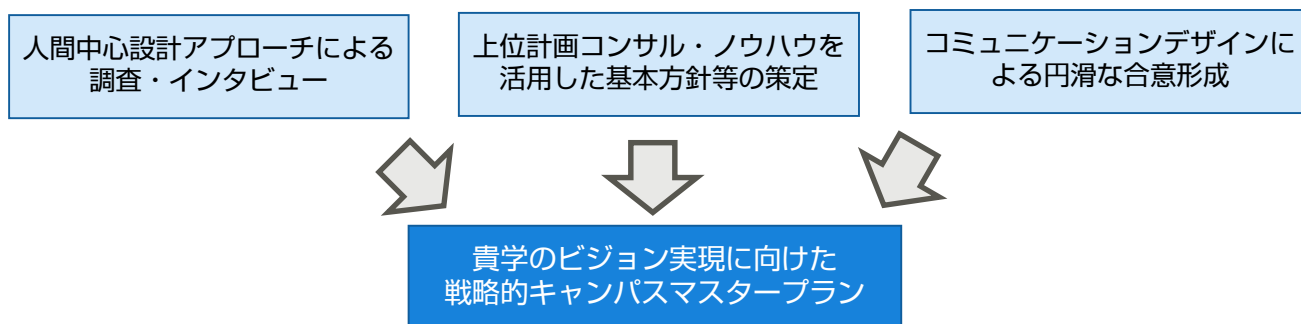
教育研究環境の質的充実、老朽化施設の改修等、キャンパスの様々な課題解消に、従来の「施設長期計画」では不十分です。貴学のビジョンを実現するための戦略的なキャンパスマスタープラン策定が不可欠です。

貴学のビジョン実現に向けた、戦略的かつ魅力的なキャンパスづくり

経済産業社会の成熟化・高度化やグローバル化の進展、少子高齢化に伴う学生数の減少、大学間の競争激化など、大学を取り巻く環境は大きく変化しています。そんな中、高度な教育研究による優秀な人材育成や国際競争力を持った技術開発、地域活性化の拠点等、大学に対する期待は高まっています。その一方で、運営交付金や各種補助金、研究費の削減など、大学の経営状況は年々厳しさを増しており、限られた経営資源の戦略的かつ効果的な活用が求められています。

富士通総研では、キャンパスも大学の重要な経営資源の1つと捉え、従来の「施設ありき」ではない、大学の「ビジョン実現」に向けた、戦略的かつ魅力的なキャンパスマスタープランの策定をご支援しています。

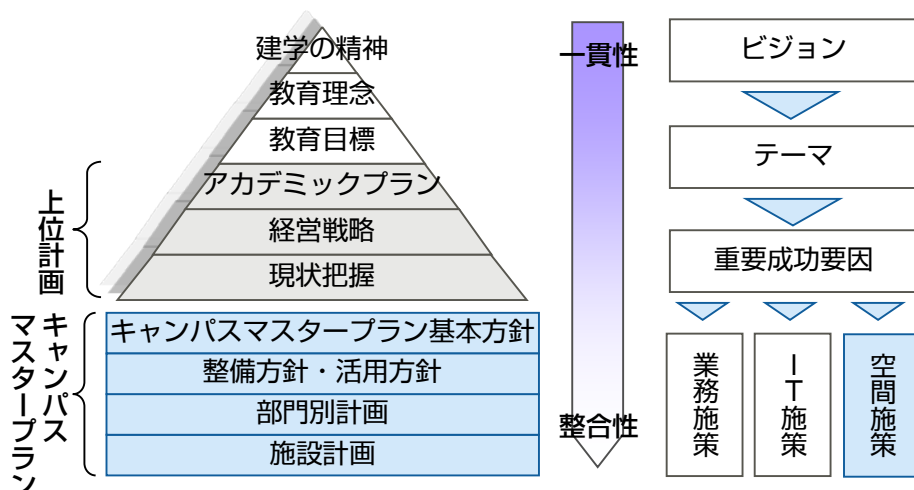
【戦略的キャンパスマスタープラン策定の考え方】



弊社の戦略的キャンパスマスタープラン策定コンサルティングでは、上位計画（アカデミックプラン、経営戦略、現状把握）、人間中心設計アプローチ、コミュニケーション・デザインの各種コンサルティング・ノウハウを適用することで、一般的な「施設ありき」ではなく、貴学の学生や教職員等のキャンパスで過ごす人々を中心とした、20年後、30年後を見据えた戦略的なキャンパスマスタープランを策定します。

上位計画と融合したキャンパスマスタープラン策定による、キャンパスづくりを通じた、貴学のビジョン実現

【上位計画とキャンパスマスタープランの融合】



戦略的キャンパスマスタープランの策定では、中期目標や中期計画といったアカデミックプラン、経営戦略、現状把握など、大学の様々な上位計画との一貫性・整合性を図ることで、上位計画の実現に直結するキャンパスづくりが求められます。

富士通総研では、ランドデザイン策定をはじめとした、各種上位計画コンサルティングの知見・ノウハウを活かして、上位計画と融合したキャンパスマスタープランを策定することで、キャンパスづくりを通じた、ビジョン実現を支援します。

戦略的キャンパスマスタープラン策定コンサルティングの進め方

人間中心設計アプローチ※と上位計画コンサルティング・ノウハウを活用することにより、効果的かつ確実に、戦略的キャンパスマスタープラン策定を進めます。また、国内外大学の先進事例の提供やコミュニケーション・デザインに基づく、貴学と一体となったワーキンググループ開催等により、貴学全体での円滑な合意形成を図ります。

キャンパスマスタープラン策定の流れ		所用期間	実施する作業内容
上位計画の分析		1 ～ 2ヶ月	<ul style="list-style-type: none"> ◆現状調査・分析 ◆情報収集 ○「思い」「価値観」「ありたい姿」の把握 <ul style="list-style-type: none"> ・実施済みインタビュー結果の整理 ・インタビュー結果への ○キャンパス空間・周辺環境の把握 <ul style="list-style-type: none"> ・観察・アンケート・ヒアリング調査、意見聴取 ○国内外の先進的キャンパス整備事例調査 ○国内外の各種事例調査
基本方針・活用方針の策定		2 ～ 3ヶ月	<ul style="list-style-type: none"> ◆基本方針 ◆整備方針・活用方針 ○CMP基本方針検討に係る意見聴取 ○CMP基本方針の策定 <ul style="list-style-type: none"> ・キャンパスの特色と強みの活用 ・地域とのつながり、歴史性の考慮 ○整備方針・活用方針の策定 <ul style="list-style-type: none"> ・上位計画・基本方針を踏まえた具体化
部門別計画の策定		2 ～ 3ヶ月	<ul style="list-style-type: none"> ◆部門別計画 ○部門別計画の作成 <ul style="list-style-type: none"> ・ゾーニング計画 ・パブリックスペース計画 ・建物配置計画 ・サステナブルな環境、建築計画 ・インフラストラクチャー計画 ○CMP案の説明 ○パブリックコメントの聴取、反映
実現に向けた取り組み		1 ～ 2ヶ月	<ul style="list-style-type: none"> ◆CMPの承認 ◆CMPの公開 ◆中期プラン策定 ○CMP案の修正 <ul style="list-style-type: none"> ・施設委員会等の意見反映、調整

人間中心設計アプローチ・上位計画コンサルティング・ノウハウが極めて有効！

※人間中心アプローチとは？

ユーザー視点そのものを獲得する独自の定性調査手法（富士通研究所が開発）を用い、文化やアイデンティティに基づいた、キャンパスの物語を描く人間中心のデザインプロセスを提供します。

このカタログに掲載されている内容については、予告なしに変更することがありますのでご了承ください。

2013年8月

お問い合わせ先

株式会社富士通総研

コンサルティング本部 行政情報化グループ
〒105-0022 東京都港区海岸1-16-1 ニューピア竹芝サウスタワー
TEL:03-5401-8404